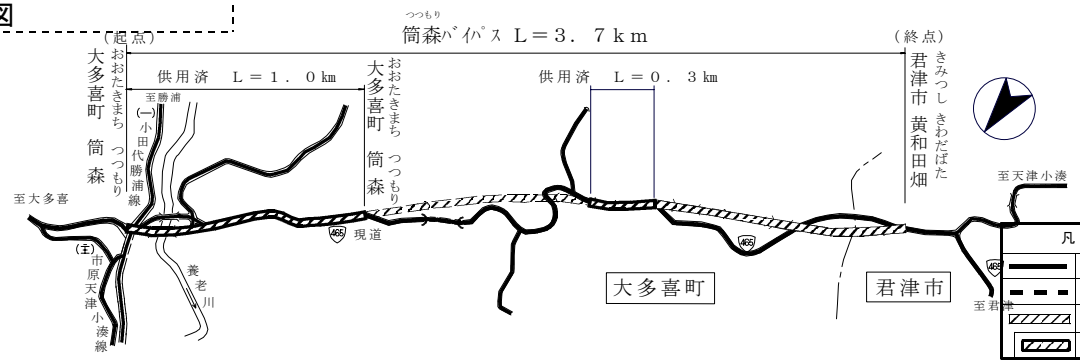


## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道465号 筒森バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	千葉県
起終点	自：千葉県夷隅郡大多喜町筒森 至：千葉県君津市黄和田畑				延長	3.7 km
事業概要	一般国道465号は、千葉県茂原市を起点とし、夷隅郡大原町を経て富津市に至る延長約7.5 kmの幹線道路である。筒森バイパスは、現道の未改良区間の解消を図ることを目的とした延長3.7 kmの2車線道路である。					
S54年度事業化	都市計画決定なし		S54年度用地着手	S54年度工事着手		
全体事業費	約50億円	事業進捗率	62%	供用済延長	1.3 km	
計画交通量	4,300台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.5 (残事業) 1.9	総費用 (残事業/事業全体) 43/54億円 (事業費：41/52億円) (維持管理費：1/1億円)	総便益 (残事業/事業全体) 81/81億円 (走行時間短縮便益：64/64億円) (走行費用減少便益：17/17億円) (交通事故減少便益：0/0億円)	基準年 平成15年		
事業の効果等	・国土・地域ネットワークの構築（大型車のすれ違い困難区間の解消） ・災害への備え（異常気象時通行規制区間の解消） ・個性ある地域の形成（主要な観光地である養老溪谷等のアクセス向上が期待される） 他4項目に該当（定量的評価項目を除く）					
関係する地方公共団体等の意見	国道465号は、地域間交流の活性化、産業や経済流通及び文化の発展に大きく貢献する期待されており、富津市をはじめとする関係2市3町の首長で構成される一般国道465号整備促進期成同盟会より早期整備の要望（平成15年11月19日）を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	現道は、崖や谷が連なり、急カーブ、急勾配、幅員狭小な箇所が連続しており、地元の人々の日常生活のみならず、増大する観光客の通行にも支障をきたしている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	現在までに1.3 kmを部分供用し、円滑な交通を確保したところである。残る部分は、トンネルや橋梁などの構造物が多く、事業費の確保が課題となっている。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	房総半島中央部の丘陵地帯を横断するため、トンネルや橋梁などの構造物が多く、事業規模が大きいことから、十分な事業費が確保できず、長期化を余儀なくされている。					
施設の構造や工法の変更等	残る部分のトンネルや橋梁について、極力延長を短くするほか、新工法の採用などにより、コスト縮減に努める。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は高く、早期の完成が必要と考えられる。					
事業概要図						

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※事業全体の費用便益は、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を行っている。